令和5年度　福島市立鳥川小学校　学校経営・運営ビジョン

子ども・保護者・地域の願い

★第７次福島県総合教育計画
「学びの変革推進プラン」

福島市教育振興基本計画

学校教育課重点目標

教　育　目　標

元気な学校
明るい学校
たのしい学校

【学校経営方針】
- □　安心・安全を第一に考える学校
- □　確かな学力が向上する学校
- □　教職員が主体的に協働する学校
- □　保護者や地域とつながる学校

心ひとつな「教師チーム鳥川」のスクラム

教育活動の目的の明確化
共通理解と共通実践の徹底

鳥川の合言葉　**ありがとう　やさしさいっぱい　心も笑顔**

元気な学校

実践事項

①　体を動かしたくなる子どもの育成
- ○話合い活動や思考場面を積極的に取り入れた体育活動
- ○単元の学習内容に即した身体づくりプログラムの毎時間の実施

②　命の大切さがわかる子どもの育成
- ○命の尊さと結びつけながら健康・安全を考える教育（授業）
  「かけがえのない命」
- ○全学級が共通実践できる健康教育と安全教育
- ○子どもの心に響くメディア教育
  家庭との連携協力の徹底
- ○感染症予防に対する知識・理解と実践力の育成
- ○信夫中学区の幼・保・小・中連携協議会や地域団体との連携・協力
- ○命を守るための行動を考える交通安全教育と防災教育
  →思考場面の積極的導入
  「どうすればよいのか」

明るい学校

①　感謝する心と思いやりの醸成
- ○全教育活動における常に重点目標を意識した指導
  感謝＋思いやり→笑顔
- ○共感的な言葉と態度で伝え合える集団づくり
  「どうぞ」「ありがとう」「いいね」
- ○相手意識のある心のこもったあいさつ・返事・言葉づかい
  「はい」「お願いします」「すみません」「ごめんなさい」
  →　礼を尽くす、礼を重んじる

②　いじめを許さない集団づくり
- ○よさを認め合う授業
- ○親和的な学級づくりを目指す学級活動（Ｉ）の実践
- ○相談しやすい人間関係と環境
- ○アンケート、教育相談、ＱＵの活用
- ○組織を生かした予防と対応
- ○情報共有の徹底と組織的な取組

たのしい学校

①　問題解決を柱とした授業づくり
- ○「なぜ」を生み出す教材提示
- ○発問の精選「よい問い」の追究
- ○適度なハードルのある学習課題
- ○ＩＣＴの効果的な活用

②　思考が深まる教師の働きかけ
- ○聴き合う指導の徹底
  「目と心を傾けて聴いて話す」
- ○前の発表者の意見との比較
  「今の考えについてどう思うか」
- ○手をかけすぎない教師の働きかけ
- ○教科書を部分的にていねいに正しく読む活動の導入

③　進んで家庭学習に取り組むことができる指導・支援
- ○楽しい読書（マイブック；学校でも家庭でも常に手元に本があり、すぐ読める環境づくり）
- ○信夫中学校区「子どもの学びのために」の継続実践

「みんなの鳥川小学校」（学校生活のきまり）

生　徒　指　導　の　３　つ　の　機　能

共感的理解　　自己存在感　　自己決定

鳥川の伝統と文化を愛する
子どもたちの未来につながる学校づくり